

平内町健康なまちづくり宣言 町民に浸透する活動を!! 継続は力なり

平内町長
船橋 茂久



平内町長
船橋 茂久
1949年生まれ(69歳)
2011年平内町長選挙に初当選。
現在2期目

平内町はどんなところ

青森県のほぼ真ん中に、陸奥湾へ頭突き出すように位置する平内町は、養殖ホタテ水揚げ日本一を誇り、「ホタテの町」とよばれています。

国道4号に沿って青い森鉄道が走っており、車窓からみる景色は海も山も田んぼも畑も季節ごとに色を変え、日々の喧騒から解放してくれる素敵な風景をみることができます。

平内町民の健康状態は

平成30年に公表された当町の平均寿命は、男性77・6歳で全国ワースト3位、女性85・4歳で全国ワースト12位と大変シヨクな結果でした。死亡原因は、悪性新生物、脳血管疾患、心臓疾患が全体の約5割を占めています。また事故や自殺に

よる死亡率も低くはありません。平均寿命がマスコミで報道され、町民の方々も健康に対する関心が高くなってきています。

町の特定健診は受診率41・8%(平成29年度)と県平均よりは高いものの、40歳代・50歳代の男性の受診者数が少ない現状や喫煙率、多量飲酒者、運動不足、朝食の欠食など生活習慣に関するデータは、県平均よりも低い状況が続いています。更に国保の医療費が県内でも高い状況が続いています。

小中学生においては肥満傾向にある児童生徒が多く、改善が重要な課題となっています。町でも健診受診率アップのために特定健診やがん検診の無料化の他、個別に特定健診を受けられるよう、体制整備を進めてきました。



平内町の生活習慣を改善するために…継続は力なり

◎漁師の健康を考える会 大きな成果!!

平成25年度男性をターゲットとし、漁業地区4か所にアンケート調査を実施しました。漁業と漁業以外の職業との生活の特徴が明確になりました。例えば、漁業従事者は健診受診率が低い、菓子パンや缶コーヒの摂取が多い、受動喫煙という言葉を知らないという状況等がわかりました。ホタテ漁業を守るという切り口で、健康づくり関係部署の他、水産関係の方々にも構成員として参画していただき、現在二地区で「漁師の健康を考える会」を実施しています。特に平内町漁業協同組合には大きなバックアップをいただき、漁協小湊支所管内では健診日に「沖止め」を実施、もう一つの茂浦地区では健診の時期を変える等して受診者の増加が図られました。



◎早期すこやか生活習慣病健診 …保護者の行動変容!!

平成26年度から小学校5・6年生、中学校2年生に大人のメタボ健診に近い健診を実施しております。結果を説明するときは、保健師又は管理栄養士が保護者及び児童生徒と一緒に面談して二人ひとりの状況に合わせた内容を説明しています。保護者は「野菜摂取」「減塩」などに気を付けるようになり、約6割の人が改善に心がけている状況です。

平内町健康なまちづくり宣言を実施

平成30年12月4日に、平内町は健康なまちづくり宣言を実施しました。

健康課題を克服するために「健康なまちづくりスローガン」として「活力源 愛情たっぷり 朝ごはん」をはじめ、運動・心のケア・禁煙・節酒・歯・減塩・健診受診・早期受診等9項目のスローガンを掲げ、今までの活動をより強化していくこととしています。また町長が平均寿命県内第1位になることを宣言

しました。

これらの事業は単発で終わることなく、各関係機関の協力をいただきながら、継続していくことで、町民のみなさまに浸透していくのではないかと期待しています。継続は力なり。

インタビュー



● 池田 麻美 ●
青森テレビアナウンサー
担当番組はローカルニュース、ナレーション、リポートなど